

電動もみすり器 TR-200取扱説明書

1. 電動もみすり器TR-200について

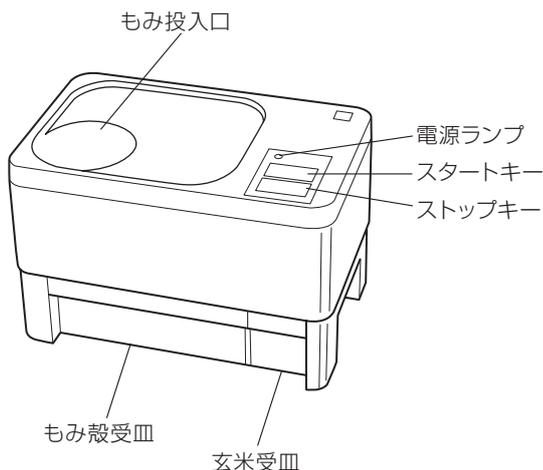
TR-200型は、PB-1D₂、SP-1D₂、ライスタ型の抵抗式米麦水分計の玄米試料を作成するのに最適な電動もみすり器です。本器は、もみすりと同時にもみ殻と玄米を分離し、水分測定に必要な玄米のみを採取することができます。多点の試料の水分測定をするライスセンター、カントリーエレベーター等の農業施設にとって迅速かつ合理的な水分測定ができます。

2. 仕様

もみすり能力：約20g/60秒
 適用水分範囲：12～18%
 安全装置：過負荷自動停止装置付
 電源：AC100V(50/60Hz)
 寸法：205(W)×130(D)×130(H)mm
 質量：約1.8kg

3. 各部の名称

《本体》

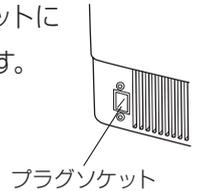


《付属品》

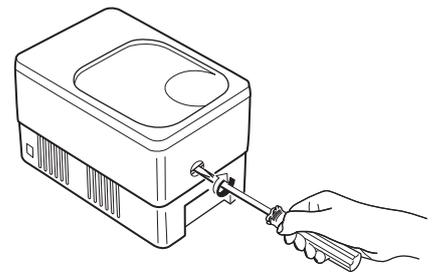


4. もみすり方法

- ① 電源プラグを本体背面のプラグソケットに差し込み、交流100V電源に接続します。
(このとき電源ランプが点灯します)
- ② **スタート** キーを押すと、もみすりロールが回転します。
- ③ 付属品のスプーンでもみを取り、もみ投入口に入れます。
- ④ もみ殻や、やせた粒等はおもみ殻受皿に、そして試料となる玄米は玄米受皿にたまります。
- ⑤ もみすり入口にもみが見えなくなってから、約10秒後に **ストップ** キーを押します。



- * もみすり入口にもみが見えなくなってすぐに **ストップ** キーを押すと、もみが本体内に残ってしまうことがあります。
- * もみすりロールの間に異物等がはさまり、モータに過負荷がかかると、本器は自動的に停止します。このように、もみすり途中で止まってしまった場合は、もう一度 **スタート** キーを押してください。それでも動かない場合は、本体左側面のネジをマイナスドライバーで右(時計回り)に半回転程度回してから、もう一度 **スタート** キーを押してください。



5. もみすりロールの交換方法

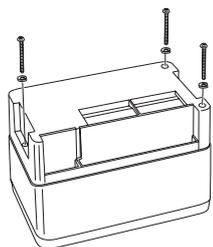
本器にはウレタン製のロールと金属製のロールが各々1本ずつ使用されています。どちらかのロールが摩擦してもみすりができなくなったり、能力が低下した場合や、ロール間に異物等がはさまりモーターが動かなくなった場合は交換してください。



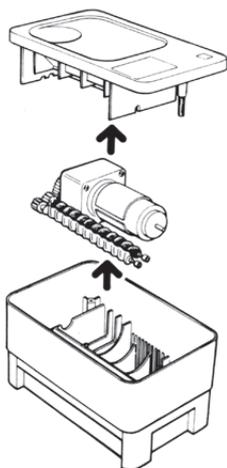
- ⑤ 2本のロールが本体から外れないように手で押さえながら、モータを組み込みます。
- ⑥ 上ケースと下ケースとピッタリ合うようにはめ込みます。
- ⑦ 上ケースを押さえながら本体をさかさまにして、3本のビスでしっかり締めます。

- ① 電源プラグを本体から外します。

- ② 本体をさかさまにして、3本のビスを外します。



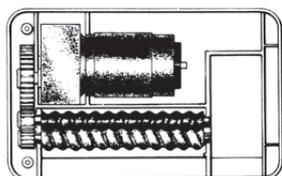
- ③ 本体を起こし、上ケースを外し、モータとロールを本体より取り出します。異物をはさまっている場合は、このとき取り除きます。



- ④ 新しいロールを本体に組み込みます。このときウレタン製ロールと金属製ロールの山と谷(凸と凹)がピッタリ合うようにしてください。

またドライメタルは忘れずに必ず取り付けてください。

- * 黒いウレタン製ロールは必ずモータ側になるように組み込んでください。



Kett

株式会社ケツト科学研究所

●URL <http://www.kett.co.jp/> ●E-mail sales@kett.co.jp

東京本社 東京都大田区南馬込1-8-1 〒143-8507
TEL(03)3776-1111 FAX(03)3772-3001
大阪支店 大阪市東淀川区東中島4-4-10 〒533-0033
TEL(06)6323-4581 FAX(06)6323-4585
札幌営業所 札幌市西区八軒一条西3-1-1 〒063-0841
TEL(011)611-9441 FAX(011)631-9866
仙台営業所 仙台市青葉区二日町2-15 二日町鹿島ビル 〒980-0802
TEL(022)215-6806 FAX(022)215-6809
名古屋営業所 名古屋市中村区名駅5-6-18 伊原ビル 〒450-0002
TEL(052)551-2629 FAX(052)561-5677
九州営業所 佐賀県鳥栖市布津原町14-1 布津原ビル 〒841-0053
TEL(0942)84-9011 FAX(0942)84-9012